

A woman wearing a blue surgical cap and dark scrubs is smiling in a field. The background shows a green field with trees in the distance under a cloudy sky.

獣

師

医

の仕事

## ◎主な仕事

牛や馬が事故（病気やケガ）にあった場合に診療をしたり、繁殖業務を行ったりします。また、事故を未然に防ぐための予防や伝染病などへの対応も獣医師の仕事です。

## 一日の 仕事の流れ

始業。  
前日の細菌検査の  
結果確認などをし  
ます。

① 8:30~9:00



往診の依頼を電話などで受け  
付けます。  
往診依頼はそれぞれの獣医師  
に振り分けます。

🕒 9:00

往診に使用する薬などの準備をします。



準備が出来たら往診に出発です。



🕒 9:00~12:00



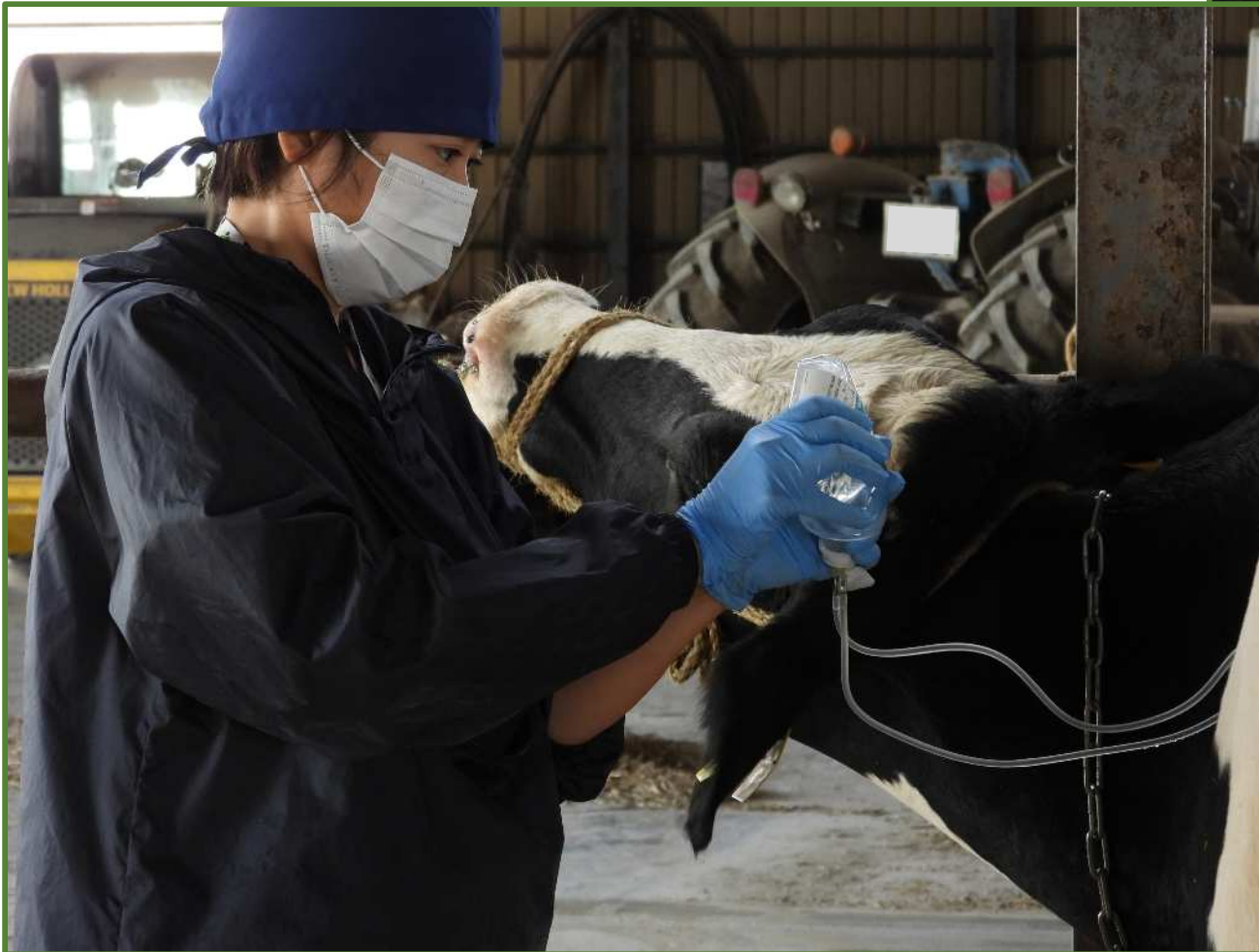
往診依頼を受けた農家さんのもとへ伺います。牛は大きいので畜主の方に押さえてもらうなど手伝っていただきます。

慎重に聴診をします。聴診だけではなく、牛の顔つきや畜主への問診からの情報もとても大切です。



🕒 9:00~12:00

途中、急患の連絡も  
しばしば...



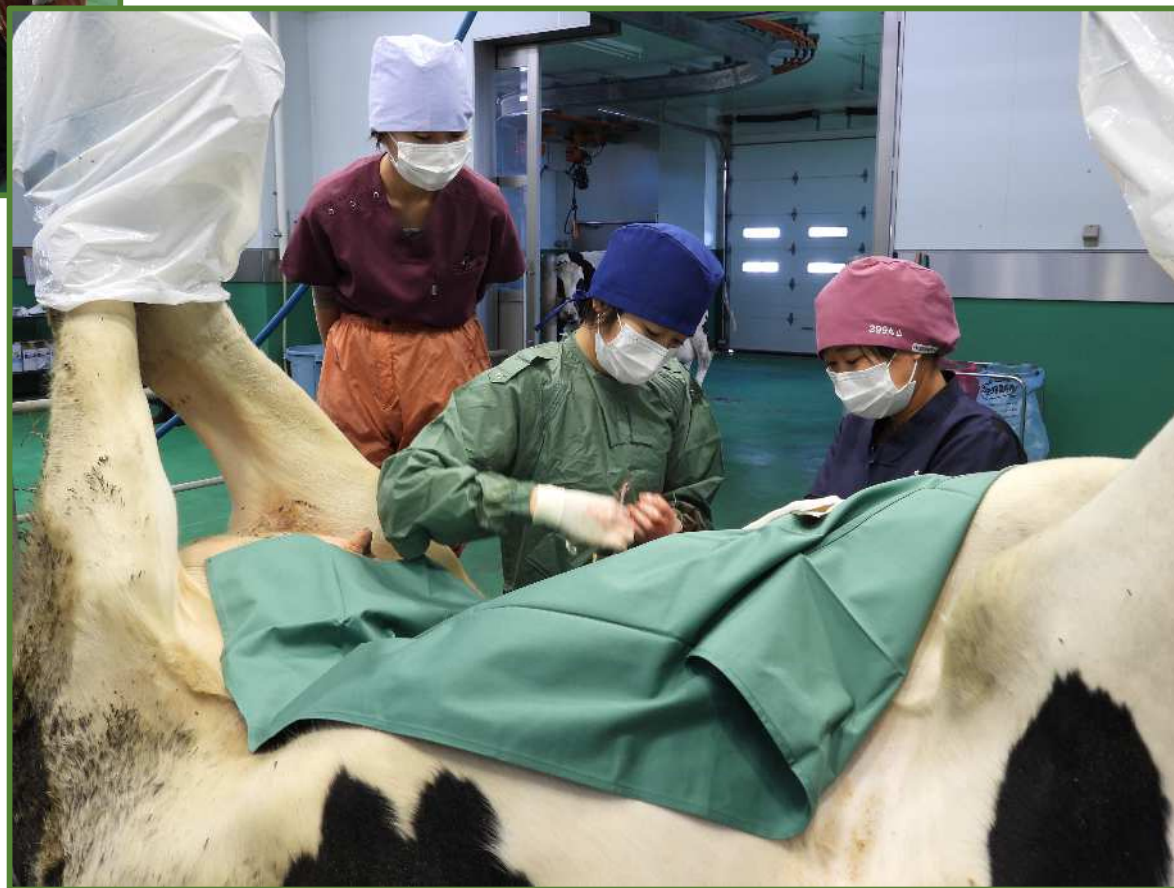
点滴注入ラブ注入♥

🕒 13:00~16:00



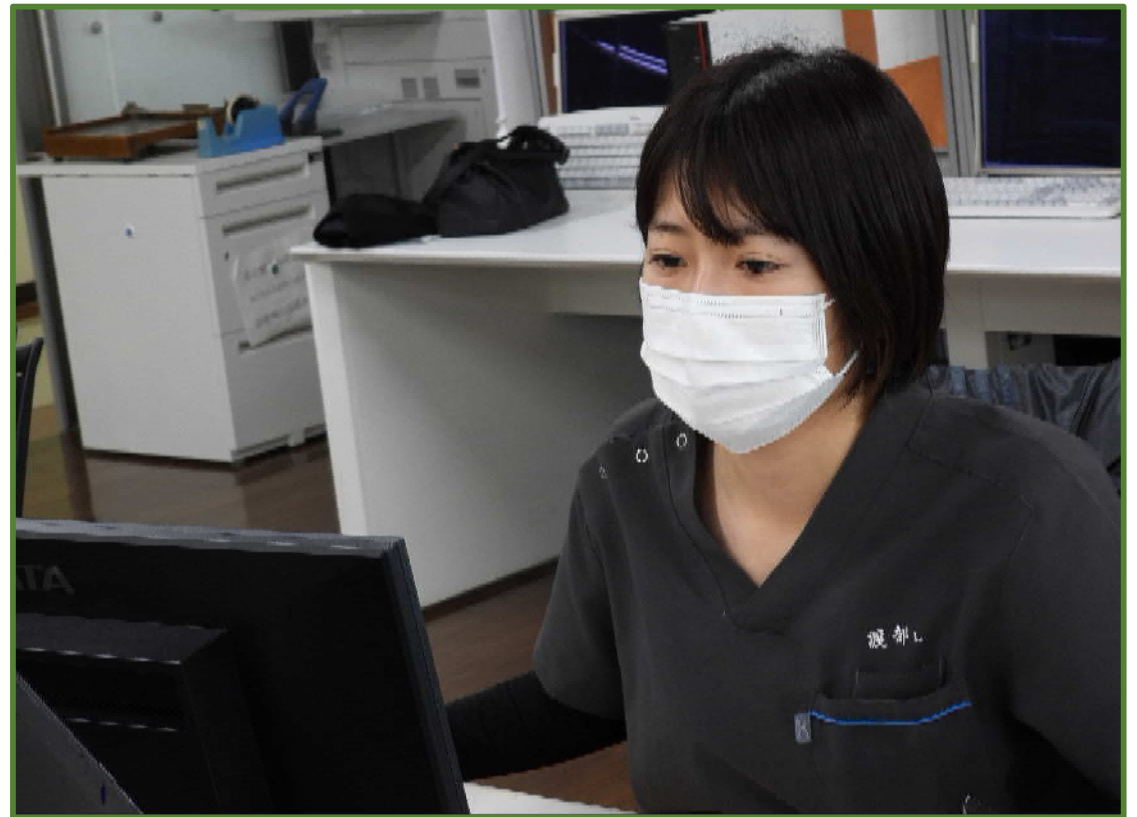
午後からは手術です。  
手術を受ける牛が診療所に  
運ばれてきます。

手術は獣医師数人で  
迅速に行います。  
手術は一日に3件ほ  
どこなします。



🕒 16:00~16:45

パソコンに向かって  
その日診療したカルテ  
の入力などを行います。



🕒 16:45



終業。  
今日も一日お疲れ様  
でした。

# interview

獣医師  
渡部 栞 さん  
Watanabe Shiori

2020年入組  
ひがし統括センター  
根室西部支所  
根室西部家畜診療所 所属



Q NOSAIへ入組を決めた理由は？

A 大学に入った時から牛の獣医になりたいと思っていました。地元での就職も考えましたが、実習に行った際にやはり牛の頭数が圧倒的に多く、日本一の酪農地帯である北海道で働きたいと思い入組を決めました。

Q 仕事のやりがい、楽しさを教えてください。

A 3年目になって少しずつ任せてもらえることが増えてきて、畜主さんからも頼ってもらえることにやりがいを感じます。自分が治療した牛が元気になって餌をもりもり食べるのを見ていると、とてもうれしいです。

Q 働いてきた中で一番うれしかったエピソードは？

A 1年目に一人で難産の往診に行きましたが、元気な子牛が生まれてきたときは、うれしかったです。畜主さんが「命の恩人だね。ありがとう」と言ってくれたことは忘れません。



Q オフの過ごし方を教えてください。

A 休みの日くらいは運動をしようとプールに行ったり散歩をしたりしています。近所の温泉に行ったり、当番の日用のご飯を作り置きしたりもしますね。

Q 今後の目標を教えてください。

A もっとできることや知識を増やして畜主さんに還元していきたいです。

## Advice



産業動物の獣医師は、日本の食を守る大切な仕事だと感じています。  
もし、就職先を迷っているなら、ぜひNOSAI  
北海道へ実習に来てください！

## 教育・ 研修制度

獣医師職員は、地域の家畜獣医療を支える専門家として高い技術と豊富な知識が求められます。NOSA I 北海道では、新人職員からベテラン職員まで職務階層別に診療技術を学ぶ研修会を中心にさまざまな研修を行っています。また、定期的に症例等の報告や診療内容など職員同士で共有、研鑽を行う場として「症例等研究発表会」の開催や現場での経験を後進に伝えるためため、各大学での講義にも積極的に参画しています。

